

# '91回顧 県内

3

## 美術

翁長 直樹



それと那覇市民ギャラリーの新築。要するに美術におけるハードの拡大である。つい最近では県知事が美術館構想を言明した。遅ればせながらではあるにせよ、

### 戦後美術とらえ直す契機

今年一年振り返ってみると市井のギャラリーやデパートのギャラリースペースの拡大とそれにもなう企画展の増加が目についた。

とは言え、美術館がなく、したかにみえる。常に西洋ディスクールとしての美術をモデルとした日本にとっ

かなくてはならないわけを通過しつつ、そのような代絵画の捉え直しと意

### 喜ばしい美術館構想

### 精神史を学ぶに最適

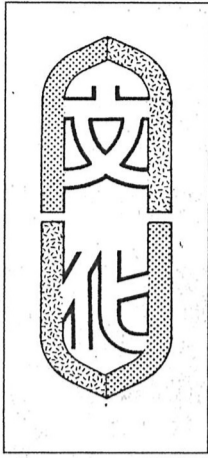
やうと沖縄でも美術作品が常時見られ、そこで生きた美術作品を通して学ぶ場ができるものがたつたと言

月に画廊沖縄が主催した「画廊沖縄十周年記念講演

同体と外部との境界にしか展も今年から企画展を再開

十分とはいかず、観者を霊性で満たしてしまおうとい

新聞紙上に美術館問題を含めて美術をめぐる言説が活発になってきたのも今



（開邦高校・美術教諭）